

## 中学校社会科 公民 学習指導案

実習校：玉川学園高学年 9（中3）年生

日時：平成20年7月14日

学級：男子17名・女子20名・計37名

単元：4．政治参加と政党政治 1．選挙と政党政治

単元設定の理由：

近年特に懸念される日本社会の問題として、若年層における政治的無関心が挙げられる。なぜ日本の若者は政治に無関心になったのか？政治的無関心はどのような問題を生み出すのか？政治を生徒の身近な問題としてイメージを持ってしくみや特徴を理解させることを通して課題の追求を行う。

単元の目標：

間接民主制における選挙の意義に気づかせ、選挙制度の具体的なしくみを理解させ制度の特徴を把握させる。政党の意義や政党政治の意味、日本の政治課題や政治的無関心の問題を取り上げ、イメージを持って将来の有権者としての資質を養う。

指導計画：

- 1．政治参加と民主政治（総時間7時限）
  - 選挙と政党政治・・・・・・・・・・2時限
  - 世論と政治参加（模擬投票）・・・・・・・・・・2時限（1 / 2本時）
  - 平和主義と安全保障・・・・・・・・・・2時限
  - 民主社会の倫理と課題・・・・・・・・・・1時限

本時の目標：

- 1．前回学習した選挙制度をふまえ、より具体的なイメージをもって日本の各政党の現状・主張を知る。
- 2．マニフェストや政党ポスターの特徴を分析することにより批判的能力を養う。
- 3．グループワークを通して、他者との意見の違いを知り、コミュニケーション能力の向上をはかる。

教材：

<教科書>

東京書籍「現代社会」p.145～157

<資料>

- ・各政党パンフレット・マニフェスト
- ・選挙公報
- ・政党の主張がまとめて掲載されている新聞記事

	本時の学習活動（50分間）	指導上の留意点	時間
導入	<p>前回の学習項目との関係説明 選挙制度の復習と現在の国会内政党勢力図の確認 「どのような政党が国会にあるのか？各政党の主張は？」</p>		5分
展開	<p>「あなたが知っている政党は？または政治家は？」</p> <p>各政党の主張の分析 ～ポスターとマニフェストの分析</p>	<p>政党ポスターは順次掲示</p> <p>5～6人のグループに分かれて1セットずつ配布 期間巡視をしながら、質問を投げかけて議論を促す。 「なぜ」を出来るだけ沢山考えさせる。 各党首のポスターにも着目（視線の向き・色のイメージ・衣装など）</p>	20分
展開	各グループで、気づいた点などを発表する。	<p>気づいた点や疑問点をグループ毎にホワイトボードに書かせてもよい。</p> <p>良い質問事項はクラス全体に投げかけて討議する。</p>	20分
まとめ 次回の 予告	次の時間に模擬投票をすることを予告。		5分

\*

\* 評価の観点：

ディスカッション時の生徒からの発問や様子  
生徒の反応